



編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町  
大字金木字朝日山323  
電話 532111 (代表) 内線40



50メートル徒競走 —嘉瀬小—



玉入れ競技 —金木小—



なわ球宅急便 —川倉小—



パーマン —喜良市小—

快晴にめぐまれた  
春の運動会

# 県議会議長に原田一実氏就任!!



第七十六回臨時県議会が五月十二日招集され、第六十代県議会議長に当町の原田一実氏が就任。同月二十二日町では、金木町中央公民館において、就任祝賀会を行いました。祝賀会には約二百名が列席。主催者の町長があいさつ、来賓の沢田茂町議会議長、野宮雄造自民党金木支部長から祝辞が述べられ、これに対して原田新議長は「今後共、県政及び町発展のため努力します」とあいさつし、多くの期待に力強く応えました。

## 津軽北部やさい生産者大会開催

六月八日、金木町中央公民館大ホールにおいて津軽北部やさい振興協議会主催による津軽北部やさい生産者大会が開かれました。

大会は、「やさい生産に意欲をもって地域農業を活性化しよう」、「生産組織の育成強化を図り、共販の拡大を促進しよう」、「良品質の生産拡大により銘柄を確立しよう」、「昭和六十二年産系統やさい取扱高二億円を達成しよう」をスローガンに金木町、中里町、市浦村のやさい生産農家と管

内農協、経済連、関係市町村等約百五十人が参加しました。

主催者を代表し、中谷金木農協組合長が「最近の農業を取り巻く内外情勢、生産物を計画的に出荷するための系統出荷の必要性の説明とともに、最近でもナガイモが一箱四千八百八十二円で出荷された事を例にやさいを作る気象条件を生かし、県南に負けない産地をつくりましょう」とあいさつし、来賓として大橋町長、青森県畑作園芸課伴

指導鑑があいさつした後、経済連田中青果部長からのやさいの情勢報告、生産者によるやさい生産事例発表、金木地区農業改良普及所山口技師による技術解説、また「野菜を中心とした活力ある地域農業の確立」と題し、田子町農協参事杉崎孝雄氏による記念講演が行われました。

津軽北部地域においては年々野菜作付面積が増加し、水稲との複合経営による農業収入の拡大に大きく期待がもたれており、出席した生産者は、大きく勇気づけられ、熱心に聞き入っていました。

### 事例発表内容

- ①カボチャ、ナガイモに取組んで……白川幸雄氏(金木農協やさい部会長)
- ②キノコ栽培に取組んで……白崎武春氏(武田農協きのこと部会長)
- ③ニンニク栽培に取組んで……佐藤竹治氏(市浦村農協やさい部会)

## やさいの産地づくりめざして



# 新緑の町営牧場に放牧スタート



五月十三日、喜良市から小田川ダムに通じる併用林道沿いにある町営模範牧場で、今年放牧予定の百十頭のうち、成牛五十一頭、仔牛四十五頭、合せて九十六頭の牛の放牧が行われました。朝早くからト

ラックで運ばれた牛は、所有者がわかるように次々と耳に登録票をつけ、家畜保健所の獣医の検査を受けたあと、農家の人たちの見守るなか、いっせいに放牧場へ向かって走り、長い冬の間牛舎にこもっていたため、広い遊び場を待ちこがれていたかのように、早速、新鮮な牧草を食べながら生き生きとかけずり回っていました。

## 喜良小全児童で クリーン作戦



五月三十日、喜良市小学校(奈良祐治校長)では、青少年赤十字活動の一環として、同地区のゴミ拾いを行いました。  
午前十時、青空の下、全児童約一八〇人が各学年に分散して校長先生や担当の先生方に引率され始まった清掃作業は、午前中いっぱい行なわれ、道路周辺に捨てられたあき缶などのゴミが多く、三十分もしないうちにゴミ袋いっぱいになりましたが、疲れも見せず、作業を終えた子供達の顔はとてさわやかでした。  
子供達の行為を無にしないよう、大人みんなが自覚したいものです。



今 正志委員

多年人権擁護委員として、国民の人権擁護と人権思想の普及高揚に貢献された功績により、当町から今正志、中谷定雄両委員が青森地方



中谷定雄委員

法務局長より感謝状が贈呈され、五月二十六日の五所川原人権擁護委員協議会の総会で表彰されました。

### 今、中谷両委員に感謝状贈呈

### ご存知ですか 建設業関係の皆さん!!

建設業を営む方々、及び建設現場で働く皆さん、国が作った「建設業退職金共済制度」をご存じですか。

この制度は、昭和39年に中小企業退職金共済法により作られた制度です。この制度の特色は、一般の退職金のように労働者が事業所をやめた時支払われる退職金でなく、建設業という一つの業種の中で働く限り、事業所に雇用された期間全部を通算して退職金を支払うという、いわば建設業界ぐるみの退職金制度です。

退職金は、国の制度ですから、确实、安全であり、極めて有利な利回りで計算されています。

現在、全国で12万の事業主、165万人の労働者がこの制度に加入し、退職金の積立が行われ、すでに40万人の労働者が退職金を受け取り、その額は782億円を超えています。

この制度について詳しいことは、下記にお問い合わせ下さい。

記

建退共 青森支部  
所在地 青森市安方町2-9-13 青森県建設会館内  
電話 0177(22)7611-2

# 教育随想 ①

金木小学校校長 浅木 全一



六月号から町内各校の校長紹介のページが企画されたことについて、各校校長は学校のPRの機会が与えられたことを喜んでおり、感謝しております。

まず、私の紹介から始めますが、昭和二十年青森市の空襲で戦災に会い、母親の生地である金木町（野呂家）へ疎開して来て以来、あまりの住み心地の良さについつい住みついてしまったような次第で、墓地も購入し、全く金木の人になっ

てしまいました。  
昭和二十三年金木小学校に採用になって以来、大東ヶ丘分校の初代主任等々、金木中学校のほか町内各校

に色々お世話になりました。

各校の思い出は色々ありますが、今回は金木小学校だけに絞るとして、一番の思い出は、火災で学校が全焼したことです。

日曜日でしたが、昼まで学校におり昼食のため家に帰る途中、学校から黒い煙がモクモクという有り様で猛火の中へ飛び込み、体で火を消そうとした松野儀助校長を必死になつておさえたことが昨日のように思い出されます。

あれから四十年過ぎた現在、県下一とも言われた学校も出来、環境だけでなく教育の中味も相当に改善され、進歩もし、外観的にも

内容的にも変化した歴史の流れをつくづく感じております。

昔語りになって申し訳ないのですが、今の教育はきびしく、科学的で、頭が良く世界のレベルのトップを行く子が沢山出来る仕組みになっておりますが、昔の学校はのんびりした中に、先生と生徒（教師と児童という感じではなく）の師弟愛がいつぱいあったような気がしてなりません。

だからという訳ではありませんが、私の今の心の中心の教育方針は、先生と生徒とのつながりを強く、そして健康で明るい子どもを育てるといふことに尽きるようです。

今時、こんなことを言うとは叱られるかも知れませんが、小学校時代少し位出来が悪くて、ワンパクでも世の中へ出たら、しっかりした生活が出来る人間。欲を言えば、多少なりとも世の中の為につくせるような人間が育てば良いとも考えております。

こうして今、校長室の机につかせてもらっております。

ですが、各教室や校庭から子どもたちの明るい歌声や、元気のよい話し合いの音が聞えて参ります。

これが数年後には、金木町の中心となる声だと思ふとほほえましいというより、身の引き締まる思いも致します。

ふと窓の外を見るに、十年前、当時の松野儀助校長、鰐田惣四郎校長、田村雄三教頭からいろいろ子どもに教えるようにして指導してもらったことが思い出され、その万分之一でも、今の子どもたちに、また若い先生達に返えしてやらねばと、つくづく考えておる次第です

青少年を非行からまもる全国強調月間(7月1~31日)



## お年寄り達

### いきいき事業!!

五月二十一日午後一時から、喜良市岩見町に近い2カ所の畑で、喜良市地区において実施している農村高齢者役割向上対策事業の一環として、事業参加者のお年寄り達約三十名が落化成の種とさつまいもの種いもを植えました。

この事業は、金木地区農業改良普及所が、金木町、金木町社会福祉協議会の協力を得て、昨年から進めているもので、喜良市地区の高齢者の人達が一緒に、研修活動、花壇づくり、子ども会との交流会、野菜づくりを通じて、コミュニケーションを深めながら、地域の発展のため自分達の知識を生かしているという

が活動内容です。





植樹する大橋町長(右)と福永営林署長(左)



金木中学校植樹作業風景

町と営林署が主催する植樹祭が、さる五月二十一日、約一三〇人が参加して、川倉の大倉岳国有林で行われ、町長と福永純久金木営林署長が主催を代表し、緑の資源保護の大切さを訴えながらあいさつしました。

このあと、岩木山が空に浮かんでいるような絶景を背にしながら、四年生の杉の苗木約千本を三〇アールに一本一本じょうぶに育つ

五月十四日、金木中学校PTA父母60人が参加し、ポプラ、キサラギ他8種類の苗木三百本を金木中学校校庭の周囲に、また前庭にはヒバの森も配置するよう

に植えました。苗木は北地方緑化推進協議会、五所川原農林高等学校からの贈呈と昭和61年度金木中学校卒業生から寄贈されたもので、ささえ木は

大橋町長から無償提供されました。

新校舎となって一年が過ぎ、勉強、スポーツ設備の充実とともに緑で囲まれた素晴らしい環境が整い、また、植樹した苗木の管理は生徒がする事になっていて「木を大事にする気持ちと人間の命を大事にする気持ちは同じである」と校長先生も話していた。卒業生にと

っては校舎の雰囲気、学校生活のページとして、なつかしく思い出されるでしょう。非常に記念に残る植樹祭でした。

# 緑豊かなまちづくり 植樹祭



## 新校舎になって一年

### 金木中学校で植樹祭行われる

てくれと願いを込めて植え付けました。

植樹祭のあと、山菜採りシーズンに備えて、山火事

防止協議会が金木町中央公民館で開催され、対策などについて討議しました。

## 計量器（はかり）の定期検査

商店、農業経営者などで計量器を使用している方は、3年に1回の定期検査を必ず受けてください。

○注意すること

- ① 検査当日は、印鑑、検査料をご持参ください。
- ② 検査を受けないはかりは、使用することができません。
- ③ 右記の実施期日に検査を受けられない方は他の実施場所でも受けられます。
- ④ 期間中に検査を受けないと県計量検定所（青森市）で受けなければなりません。

検査地区	実施期日	実施場所
川倉藤枝	7月20日 (月)	川倉 「老人いこいの家」
喜良市	7月21日 (火)	金木町農業協同組合 喜良市支所
中柏木嘉瀬	7月22日 (水)	嘉瀬公民館
金木蒔神全地区	7月23日 (木) 7月24日 (金)	金木町自然休養村 管理センター

※ 詳細は商工観光課へお問い合わせください。

# 金木病院カルテ ②1

## CTスキャンについて

金木病院内科 中村 紳

今月から当金木病院にも、待望のCTスキャナ（コンピュータ断層撮影装置）が導入され、病気の診断に、その威力が発揮されることになりました。いままでは、その装置がなかったため、院外でCTスキャンを行ない、随分不便な思いをしていただきましたが、六月からは、院内でその検査が出来る様になったわけです。CTスキャナ（コンピュータ断層撮影装置）とは一体どのような機械か、簡単に説明しますと、X線を出す部分が、患者さんの体の回りを一周し、その情報を計算して、普通では見るこ



との出来ない、人間の体を輪切りにした写真が出来上ってくる装置です。検査を受ける患者さんは、もちろん体を輪切りされるわけではなく、まったく苦痛を受けないことなく、頭の中や、体の中がどうなっているかわかるわけです。脳、肺臓、心臓、肝臓、脾臓、腎臓、子宮などの検査に有用ですが、特に脳卒中の時には、必要欠くべからざる検査であり、CTによって得られた情報は、非常に大切なものとなります。といいますのも、脳卒中には、脳の血管が詰まってしまい、脳の障害が出るもの（脳梗塞）と、脳の血管が

破れて出血を起し、脳に障害が出るもの（脳出血）と、大きく二つに分けることが出来ますが、一部の脳出血は、早期に診断し手術をすれば命を救うことのできる症例もあるからです。CTスキャンでは出血は白く出ますし、梗塞は黒く出ますので、一目瞭然に分かります。その他、頭痛が始まるくも膜下出血も、CTで見ると、すぐに安全に診断することが出来ます。年々、設備が充実してきております金木病院に、力強い味方が今月から登場したわけです。

### 人口と世帯

	5月31日現在	前年同月比
男	6,642	- 84
女	7,240	- 53
計	13,882	-137
世帯数	3,918	+ 17

### 戸籍

### の窓

五月届出

### おめでとう

白川 将太（輝彦） 蒔田  
 山中 康裕（晴仁） 嘉瀬  
 柳平明日香（正樹） 喜良市  
 佐藤 伸栄（弘光） 嘉瀬  
 松橋 隆平（隆三） 金木



### はじめまして

将太ちゃん

4月25日生まれ

体重 3,650グラム

蒔田

白川輝彦さんの長男

### おしあわせに

津島 智秀（誠） 金木  
 鳴海 梨香（信一） 嘉瀬  
 古川 耕太（哲広） 喜良市  
 中谷 泰成（明良） 川倉  
 津島 里郁（和伸） 金木  
 小林 恵（達英） 金木  
 木村 匡三郎 五所市  
 桑田 恵利子（明） 喜良市  
 角田 豊彦 豊西 金木  
 渋谷 まゆみ（吉司） 稲垣  
 角田 隆（正一） 金木  
 佐々木 明美（香） 五所市  
 石戸 谷隆幸（俊昭） 稲垣  
 成田 あけみ（ティ子） 金木  
 近藤 武（満） 喜良市  
 廣江 朱美（修三） 新潟県  
 澤田 誠（サワ） 嘉瀬  
 田中 純美（稔三） 東京  
 原田 博（國満） 中柏木  
 木村 百合子（勝義） 木造  
 成田 武美（武則） 稲垣  
 今 里（勇五郎） 喜良市  
 伊藤 隆慈（清慈） 嘉瀬  
 開米 偉子（一巳） 五所市

### おくやみ

田中 芳彦（勇五郎） 金木  
 田中 千晶（長昭） 川倉  
 成田 憲昭（太） 中柏木  
 中村 千鶴子（平次郎） 鱈ヶ沢町  
 沢田 達伸（茂昭） 金木  
 工藤 千佳（敏秋）  
 前田 タマ（86歳） 神原  
 今 金蔵（59歳） 喜良市  
 山中 秀一（64歳） 嘉瀬  
 清野 貞太郎（84歳） 川倉  
 小山内 タヨ（90歳） 金木  
 大橋 イク（83歳）  
 吉村 米次郎（79歳）  
 白川 千代治（62歳） 藤枝  
 岡田 久吉（80歳） 喜良市  
 伊藤 宮雄（78歳）  
 岡田 タセ（81歳）  
 今 里（70歳）  
 角田 フサ（53歳） 金木  
 黒滝 稔（58歳） 蒔田

### ママさんバレーボール会員募集

練習日時 毎週火・金 午後7時30分～9時  
 練習場所 農業者トレーニングセンター  
 対象 既婚者（年齢制限なし）  
 連絡先 金木町山道町 角田エコ  
 TEL 53-3148